



指扇中だより



西区の花 アジサイ

= 自信と誇りに満ちた指中生 =

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 電話 048(624)6234 FAX 048(624)2479

『LOVE RAINBOW』

校長 おおこうち のりかず 大河内 範一



昨年12月いっぱい「嵐」が活動を休止した。嵐は結成から約20年経っているのだが、実は私が嵐を正確に把握したのは、恥ずかしながら10年ちょっと前だった。それまでは世間では騒がれていたものの、人数や構成メンバーなどはあやふやな状態だった。しかし、ひょんなことから嵐の曲に出会い、CDを買い集めるようになった頃から

は、家族全員が嵐ファンになった。そして、「嵐フェス」と呼ばれるライブのDVDを借りてきて、喜んで鑑賞するくらいになると、嵐好きもかなり拍車がかかっていた。もしも人事異動で嵐への加入の話が自分に来たら、相当悩むんじゃないだろうかと思うくらい、とにかく嵐は気になる存在になっていたのである。

嵐の曲を聴くとその時々思い出が鮮明に蘇ってくる。『トラブルメーカー』は、娘が小学校の金管バンドに所属していた時、真夏の浦和まつりで汗をかきながら演奏していた曲。『ワイルドアットハート』は、家族で房総半島に海釣りに行き、1日でイワシが400匹釣れて、狂喜乱舞しながら帰路について車中で聴いた曲。『ハピネス』は、私が小学校の教頭時代、マラソンの練習で低学年の児童たちとニコニコしながら一緒に走った時に校庭に流れていた曲、などなど…。嵐の曲はまさしく人生の縮図といていい。メンバー5人が揃った姿をもう見ることができないのかと思うと、一抹の寂しさを感じずにはいられない。

紅白歌合戦で松潤が語った「嵐が去った後に虹のかかった美しい空が、どうか皆さんの前に広がりますように。明けない夜はないと信じて」というメッセージは、強く心に残っている。最後の最後まで、嵐は私の心を震わせてくれるんだなあと、年越し蕎麦をすすりながらしみりと考えていた。

当たり前のように存在していたものがなくなってしまう喪失感。誰もが少なからず経験したことがあるだろう。身近な事でいえば、今のクラスとは間もなく別れを迎える。当たり前がなくなってしまう前に、今の仲間や先生との交流を大切に、有意義な時間を過ごしてほしい。そして、後になって寂しい思いをしたり、悔んだりすることがないように、何事にも真心を込めて、ありったけの力で取り組むことが大切なのだということを心に留めておいてほしい。

世の中が穏やかになり、我が家も再び海釣りに行けるようになった時、釣り好きの大野くん偶然会えたら嬉しいな。